

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3	1	クールダウン、体調不良への対応の際個室がないため十分な支援ができない時がありますが、棚の位置の工夫をして環境が少しでも良くなるよう努めています。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	2	入り口までの階段が急です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			定期的に全事業所スタッフが集まる合同勉強会が開催されています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		その時々課題をプログラムに落とし込んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			毎日細かく確認することができています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	9			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3	1	現在対象のお子さんはありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8		1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	1	

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			管理者に早急に報告をしており、適切な対応が取れるよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1		
	35	個人情報に十分注意しているか	9			ブログを公開する際は個人が特定されないようスタンプ等を使用して工夫しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	5		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	1	周知の部分に改善が必要と感じるのでブログ等を活用していきたいです。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			定期的に訓練を行い、発生時に対応できるようにしています。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1			
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9				
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2		保護者からの情報通りに対応しています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			作成したヒヤリハットは誰でも手に取り確認できるよう共有、保管しています。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスこすもすカレッジジュニア新松戸教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	カリキュラムを固定化せず、利用者様一人一人の課題やニーズに応じてプログラムを作成していること。	各曜日ごとに多様な活動を提供できるよう、季節や行事に合わせてカリキュラムを作成し、個別の成長を促進していること。	利用者の子供達でこども会議を開き、どんなことをしたいか、どんな所に活動へ行きたいかなど、その目的も一緒に考えみんなで楽しめるカリキュラムやイベントを提供していること。
2	保護者様や利用者様のご要望を積極的に取り入れ、カリキュラムの作成に反映させていること。	利用者様にとって意味のある支援を行い、信頼関係の構築にも取り組んでいること。 また、心理指導担当の意見も落とし込み、一人一人の課題を意識しカリキュラム作成や余暇の時間に対応できる内容を職員間で話し合い、共有していること。	年に2回、保護者参加型のイベントを企画しており、利用者様が楽しんでいる姿を直接見る機会を設けています。 利用者様の楽しみだけでなく、保護者様同士の親睦や情報交換の場ともなり、コミュニティの形成を図っていること。
3	利用者様の状況を保護者様に伝え、発達状況や課題について共通理解が出来ていること。	保護者様へのお伝え方法を連絡帳だけでなく、送迎時やメールなどを利用しその日の様子を伝えていること。 また、保護者様とのコミュニケーションを通じて、双方の理解を深められるよう取り組んでいること。	職員全員がご利用者様の課題を理解するために、毎朝の職員会議で振り返りを行い、一人一人の課題や取り組み内容を話し合い、より良いサービスの提供や一貫した支援が提供できるよう、定期的な勉強会に参加し職員の支援向上に取り組んでいること。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害を想定した避難訓練を定期的に行っているが、保護者様へ十分な周知が出来ていないこと。	避難訓練は定期的に行っているが、周知が十分でないため実施報告が後手となってしまった。	ブログなどを活用し改善していく。 また、保護者様へ訓練の様子や内容についても情報を共有する。利用者様にはカリキュラムの中で、災害について繰り返し授業を行い、発生時に行動出来るよう取り組んでいく。
2	利用者様一人ひとりに個別対応をおこなうためには、専門知識を持つスタッフの確保が必要だが、スタッフの確保や余力が十分でないため、時折運営に影響が出ることがある。	限られた人員で運営しているため、新たな人材を育成する時間が十分にとれないことがある。	新人スタッフに限らず基礎知識をつける研修は定期的に行っているが、経験豊富な外部講師を招き短期間で効果的な研修を行い全体のスキル向上を図っていく。 また、他のデイサービスとの連携を強化し情報交換を行い運営の質向上を目指していく。
3	地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供することが難しいこと。	平日においても、可能な限り(下校時間が早い時等)公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。地域のボランティア団体などの受け入れを行っている。